

英語学研究BⅡ

単位数	2
開講時期	後期

授業の目的および概要

World Englishes: 世界英語の研究

グローバル化する今日の社会において「国際通用語」としての英語の有用性は増すばかりだが、「国際通用語」としての英語の多様化も急速に進んでいる。世界各地で頻繁に使われるようになった英語は、土着の言語(その土地でもともと話されている言語)と結びつき、新種の発音・語彙・文法を獲得し進化している。また、英語を外国語として学ぶ外国人同士が自前の発音や会話スタイルで英語を共通のコミュニケーションツールとして活用するという状況もますます日常化している。このような社会的背景の中で生成され進化し続けている英語を「世界英語」と呼ぶ。

本講義では、前期(英語学研究B/BI)で学習した内容を応用して、世界各地で用いられている様々な英語の音声的特徴、文法的特徴、語彙的特徴、会話スタイル上の差異などを研究する。具体的には、イギリス英語の多様性(容認発音・スコットランド英語・アイルランド英語・ウェールズ英語・エスチュアリー英語など)やアメリカ英語の多様性(地域差・民族差)に始まり、カナダ英語、オーストラリア英語、ニュージーランド英語、さらには英米豪以外の英語諸方言の言語的特徴の理解や実音声データをデータとした音声分析を通して「世界英語」の実態を把握する。

授業方法

毎時間、二人一組の学生発表を軸に展開される。講義や発表はすべて「世界英語」(ほとんどの場合は日本人英語)で行う。

学生発表の一組目は、予め指定された英語文献の内容について、日本語でレジュメ(あるいはパワーポイント)を作成し、英語で説明を加える。学生発表の二組目は、世界英語に関する洋雑誌(担当者が指定)から興味・関心のある論文を一つ選び、その内容を日本語でレジュメ(またはパワーポイント)にまとめ、英語で説明を加える。その際、論文内容に関してDiscussion Questionsを準備しておく。

発表が当たっていない学生は、発表内容に関する小グループでの英語ディスカッションに積極的に参加し、成果をクラス全体に発表する役割を担う。

到達目標

英語諸方言の言語的特性や生成の社会文化的背景を入念に調べ、国際通用語として多様化する「世界英語」の今日の実情を正しく理解する。さらには、今後の自己の英語学習の進展、他者に英語教育を施す場面、職業的ニーズから英語を活用する場面などで、これらの知識を応用していける専門的見識やコミュニケーションツールとしての英語の運用能力を高める。

授業計画

1. オリエンテーション、世界英語とはなにか。
2. イギリスの諸方言
3. オーストラリア英語
4. ニュージーランド英語
5. カナダ英語
6. アメリカ英語の地域差(1): 方言区画
7. アメリカ英語の地域差(2): 南部・中西部・西部
8. アメリカ英語における民族方言(1): アフリカ系アメリカ人の英語、ニューヨーク市英語
9. アメリカ英語における民族方言(2): スパングリッシュ、ハワイの英語
10. 英語圏以外の世界英語(1): インド英語、日本人の英語
11. 英語圏以外の世界英語(2): ビジン・クレオール英語、韓国人の英語
12. 英語圏以外の世界英語(3): シングリッシュ、中国人の英語
13. 英語圏以外の世界英語(4): フィリピン英語、北欧の英語
14. 英語圏以外の世界英語(5): 無国籍英語
15. 全体の総括

成績評価方法

出欠状況、学生発表、グループディスカッションにおける貢献度で総合的に評価する。

準備学習

出された課題を的確に行うこと。教科書や配布資料を読み、議論に参加できるよう自己の意見をまとめておくこと。

教科書参考書

教科書：プリント教材を使用。

参考文献: ① Wolfram, W., & Ward, B. (2006). *American Voices: How Dialects Differ from Coast to Coast*. Blackwell. ② Trudgill, P., & Hannah, J. (2002). *International English: A Guide to Varieties of Standard English*. 4th Edition. Arnold. ③ Foulkes, P., & Docherty, G. (eds.) (1999). *Urban Voices: Accent Studies in the British Isles*. Oxford University Press. ④ 図書館の検索システムで入手できる世界英語に関する洋雑誌: *English Today*, *World Englishes*, *English World-wide*.

注意事項

毎時間の授業の進度に合わせて指定された英語文献を読んで講義に参加すること。英語学研究B(I)を履修済であることが望ましい。

言語学や言語学系の各種概論を履修済みであることが望ましい。

初回講義では様々な重要事項を説明するので絶対に欠席しないこと。